

Dr.'s REPORT

RF SYSTEM lab.

ドクターズ・レポート | 「デジゲンNAOMI」をお使いのドクターによる
製品やサービスに関する生レポートです。

今月のレポート医院

耳鼻咽喉科 (埼玉県)

ダイレクトメールを読んで、ショールームへ

自現機の老朽化にともない、そろそろX線の再購入を考えていた時期でした。—自現機の掃除や処理液の管理から開放されたい—時々送られてくるダイレクトメールで、NAOMIのカatalogなどは読んでいたので、実際にショールームに行ってみることにしました。

実物を見ながら説明を受け、操作してみると思った以上に簡単。普段パソコンで行っているデジタルカメラの写真管理と同じ程度で、私にも安心して取り扱えるとわかり、導入を決めました。事前にDRシステム (NAOMI) とCRシステムの違いを勉強していたのも役に立ちました。

撮影枚数が少ない先生こそ、デジタルがおすすめ。 NAOMIを導入して、余計な心配が減りました。

診察でレントゲンを多く撮影される先生はもちろんですが、あまり撮影しない先生にとっても、メリットは多いと思います。私自身も撮影は少ない方ですが、患者さんの体格や自現機の状態に影響されることなく、いつも安定した画像が得られるので、余計な心配が減りました。デジタル化によって、溜まるばかりだったフィルムの置き場所も今後は考えなくてすみますし、写真の管理も簡単。検索や比較も瞬時にできるようになりました。

レントゲンに対する患者さんのイメージも変化

画像の拡大等の操作ができるのはデジタルならではの、必要な部分を強調できるので、患者さんにも説明しやすいのが良いです。とくに耳部では、内耳道の計測値が画面上に明示できるので、説得力もあります。プリントアウトした写真をカルテに貼ったり、また希望される患者さんには小さな用紙にプリントアウトして渡したりもしています。



こちらの説明の仕方が変わったこともあってか、患者さんによっては、レントゲンそのもののイメージが変わった方もいるようです。また院内のスタッフにも好評で、導入直後からパソコン操作にもすぐに慣れ、しっかり使いこなしています。

2008
4
vol.13

ショールームで 導入を決めました。